

珍しい売れ筋のなかに、

煙管 1643本、墨 3646本、印籠 72個、木魚 44個、硯 99面、石地藏 5体など、箱館を下検分に来たアメリカ人が東洋の異文化へ寄せた関心度が熱く伝わり、かつ箱館商人たちの商才は北海の朝日にきらりと輝いた。

古文書の真実いづこ天高し 白鷹

最後に武田斐三郎<蘭文和訳>と言う人物は、私たち函館人として見直さなければならぬすばらしい人物だと思う。

理事会議題記録

第1回 7/4

1. 年間スケジュールについて
2. 予算案について
3. インターアクトについて
4. RA提唱クラブ委員長会議について
5. 退会会員について
6. 国際交流のつどい協賛広告について
7. 第1回第11分区協議会について
8. 交換学生ケリー・ロング送別会について

第2回 8/1

1. 前年度決算に伴う予算書の決定について
2. 分区協議会の結果報告
3. 副SAAについて
4. ガバナー公式訪問に備えて
5. 女性会員入会について
6. 財団、米山について

(会報担当者：木戸浦静男 委員)

◎ 8月23日出席報告

会 員	58名	出席率対象会員	56名
		出席規定免除会員	2名
当日出席	33名	当日欠席	23名
他クラブ出席	12名	出席合計	45名
出席率	80.36%		

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・9月20日

プログラム

「函館の歴史」

千代 肇氏



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2000~2001年度 国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長 フランク J・デブリン

「CREATE AWARENESS-TAKE ACTION」

意識を喚起し-進んで行動を

松見 修二 会長テーマ 『クラブに新風と活力を』



9月13日早朝例会 洞爺丸慰霊碑清掃記念写真

《第1792回例会》 第11号 9月20日(水)

本日のプログラム

「歴史に見る夢と現実・箱館開港」

日本博物館協会会員 千代 肇氏

★会長 松見修二 ★幹事 大和 明

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

◎司会 大和 明 幹事

◎早朝例会 「七重浜洞爺丸慰霊碑の清掃」

(上磯ロータリークラブとの合同早朝例会)

午前7時より今年も昨年同様、上磯ロータリークラブのメンバーと合同で重浜洞爺丸慰霊碑の清掃奉仕活動を行いました。

早い方は午前6時頃より集り、石畳の間にはえている草むしり、慰霊碑の壇の水洗いやごみ拾い等、メンバーの皆さんは精力的に励んでおりました。



清掃終了後、仏花とろうそく線香を立て函館北ロータリークラブ藤野会員と上磯ロータリークラブ黒萩会員の読経があり全員で黙祷をささげました。

藤田社会奉仕委員長から「七重浜洞爺丸慰霊碑清掃奉仕事業由来」と「今後も続けていきたいので、これからもよろしく

との挨拶があり、引き続き函館北ロータリークラブ松見会長と上磯ロータリークラブ大場会長及び第2510地区第11分区戸嶋ガバナー補佐の挨拶がありました。

そのあと慰霊碑の前で全員で記念撮影を行い、石橋会員のおいしい特製仕し弁当をいただいて解散しました。

この活動は、函館北ロータリークラブが20年以上続けている奉仕活動で、年前より上磯ロータリークラブと合同で清掃活動をしており、今回の参加は両クラブ合わせて60名の参加をみました。

◎七重浜洞爺丸慰霊碑清掃奉仕事業の由来

藤田 正男 社会奉仕委員長

この慰霊碑の植樹は、函館北ロータリークラブの事業として初代会長の新善次さんが、この地に数百本の松を植え込み、又、会員の沢村敏雄さんが、トラック数十台分の土を運び込み、今の形をつくり上げました。

そして、1967年5月17日に、当時の会長飯田神生さんが清掃奉仕を兼ねた植樹祭を行いました。その後、1968年7月19日に草刈りや垣根修理等を行い、1970年7月21日に函館の4つのロータリークラブと合同で清掃奉仕を行いました。

又、1972年6月21日には、移動例会として行い、当年10月18日にはガバナーと共に清掃奉仕を行いました。

その後、年月の経過と共に当時の松も今ではほとんど枯れてしまい、現在の本数が残っている状態となっております。

又、当時は、清掃作業も草がぼうぼうとしており、大変だったということでした。その後1988年～1989年の飯田貢一会長の折り、創立25周年記念事業として「国、函館市、上磯町、国鉄」に働きかけ、この公園が完成いたしました。その時の記念碑が右側に建立されております。又、国道沿いには函館北部ローターアクトの10周年記念行事の折りに案内板も建てられております。

◎親睦活動委員会 山下 清司 委員長

ニコニコBOX投入報告

戸嶋ガバナー補佐……早朝例会に出席させていただきました。

◎洞爺丸海難とは……

1954年(昭和29年)9月26日の15号台風で、青函連絡船洞爺丸をはじめ、十勝丸、第11青函丸、北見丸の貨物船など計5隻が転覆や沈没。洞爺丸の乗客だけで1,094人、各船の乗組員353人が犠牲になった。

◎アメリカの1年留学を終えて考えること 藤野みつる

私は、Rotaryの派遣学生でアメリカのニューヨーク州に1年間留学し、今月帰国しました。何について書き初めていいか分からないくらい、1年間本当にたくさんの方がいました。

ちょうど1年前、自分の視野を広げたいとか、英語が話せるようになりたいとか、他の世界を見てみたいとか、そんな簡単な動機で、私は留学することを決めました。出発する前は、本当に不安だけでよく前が見えていなかったのも、実感が全く沸きませんでした。出発して2、3カ月は全く英語も話せず、ネイティブの方の英語も早すぎて理解できず、とてもつらい日々が続きました。そして、私の場合は、学校も最初は大変でした。私がスゴク感じたことは、日本では、特に私の学校では留学生が来るとみんなとても興味があって暖かい目で見られるけど、アメリカは全くそういうことがありませんでした。きっとそれはアメリカはたくさんの人種からできている国なので、日本人が外国人を珍しいと思うようなことはアメリカ人にはないからだとは私は考えます。そんなつらい時期をすごした時、host familyは本当に温かい存在でした。日本ではありえないと思っただけくらい私がアメリカに着いた1日目から本当の家族として扱ってくれたし、私がかつろける場所を一生懸命作ろうとしてくれました。学校の方は本当に小さい所に行ったので留学生は私1人で、そんなこともあって最初から他の生徒と同じく授業に出、宿題もテストもありました。全くわからなくて先生に質問したり、host familyと先生が話し合ったりしたけれど、先生方は結局何もしてくれませんでした。

最後のほうはそれでもついていくことができるようになったけれど、もう少し留学生のことを学校でも考えてほしいと思っています。これからの留学生には、学校生活を快適に送れる状況を少し考えて見てほしいです。アメリカと日本の学校のちがいは本当にたくさんあると思います。アメリカの学校の印象は『自由』、ということ。むこうの学校は教科もすべて自分で取ることができるし、日本のように校則にも縛られていないので生徒はみんなのびのび暮らしていると思いました。私がアメリカでできた友達の多くはどんな場合でも自己主張をすることができます。そういう環境にいなかった私は始めそれにとまどうことがよくあり

ました。私は彼らがとても大人に感じました。私は自由ということはただ好きなことをしていればよいような考えでしたが、アメリカの人々が持っている自由というのは、自分たちがしなければならないことをしっかりしたあとで得る自由です。だから彼らは自分に自信をもち、どんな場合でも自己主張ができるのだと思います。そしてまた私は日本の教育についても学ぶ点がたくさんありました。日本教育は世界的にも認められ、特に数学や科学は世界で最も優れているので、だから日本のテクノロジーは信頼され多く使われているのです。

あと、host familyと生活を共にして感じたことは、host familyと同じ様に仕事を持って自立しているということです。だから家事、食事の支度、洗濯なども分担していました。このことは、私にとって興味をひく点でした。また、Rotaryのmeetingでは日本ではほとんどの人が男性の会員ですが、アメリカではたくさん女性の会員がいました。これはアメリカならではの事だと私は聞きました。

留學生活3、4カ月たった後は英語力も少しずつつき、そして部活に参加しマネージャーをしたり積極的に行動したことで本当にたくさんの友人そして親友と呼べる友人もできました。後期の方は本当に学校生活が充実し、学校が大スキでした。最後まで自分を信じるのが大切だとその時実感させられました。そしてまた私は色々な国からの留学生と、とても仲良くなり、私達はいつもお互いに理解することができ自分達の経験、喜びを分かち合う事ができました。

私はむこうの高校を卒業しRotaryが主催する30日間のアメリカ一周のバス旅行に134人の留学生と行きました。私達はアメリカの大きさを肌で感じる事ができる30日間というわずかな期間で深い友情、感動、きずな、本当にたくさんのお土産をいただきました。私は言葉では言い表すことができないすばらしい経験をし、決して将来忘れることはないでしょう。

私は本当にこの1年間の留学でたくさんのお土産を学び考えました。自分の国を初めて出てわかった母国の長所、短所、そして1年間ずっと支えてくれた家族と友達の大切さ、本当に感謝しています。家族友達そしてRotaryがなかったらここまで私は留学を充実できませんでした。私にこのようなすばらしい機会をくれたRotaryの皆さん、本当にありがとうございました。

◎第3回喜多会成績 9月13日(水) アンビックス函館G.C.

		out	in	G	H	N	敬称略
優勝	藤野 明 信	40	45	85	12	73	
準優勝	大和 明	48	43	91	16	75	
1位	佐々木 公 和	42	49	91	12	79	
2位	千葉 昭	41	44	85	5	80	
3位	福井 昇	47	47	94	14	80	



優勝：藤野 明信 会員



準優勝：大和 明 幹事

(会報担当者：成瀬 一徳 委員長)

◎ 8月30日出席報告

会 員	58名	出席率対象会員	名
		出席規定免除会員	名
当日出席	名	当日欠席	名
他クラブ出席	名	出席合計	名
出席率	自主休会		

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・9月27日 プログラム	「お米の話」 北海道農業試験場 場長 竹川 昌和 氏
-------------------	-------------------------------



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2000~2001年度 国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長 フランク J・デブリン

「CREATE AWARENESS-TAKE ACTION」

意識を喚起し-進んで行動を

松見 修二 会長テーマ 『クラブに新風と活力を』



9月20日卓話 千代 肇 氏

《第1793回例会》 第12号 9月27日(水)

本日のプログラム

「お米の話」

北海道農業試験場 場長 竹川 昌和 氏

★会長 松見修二 ★幹事 大和 明

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870